

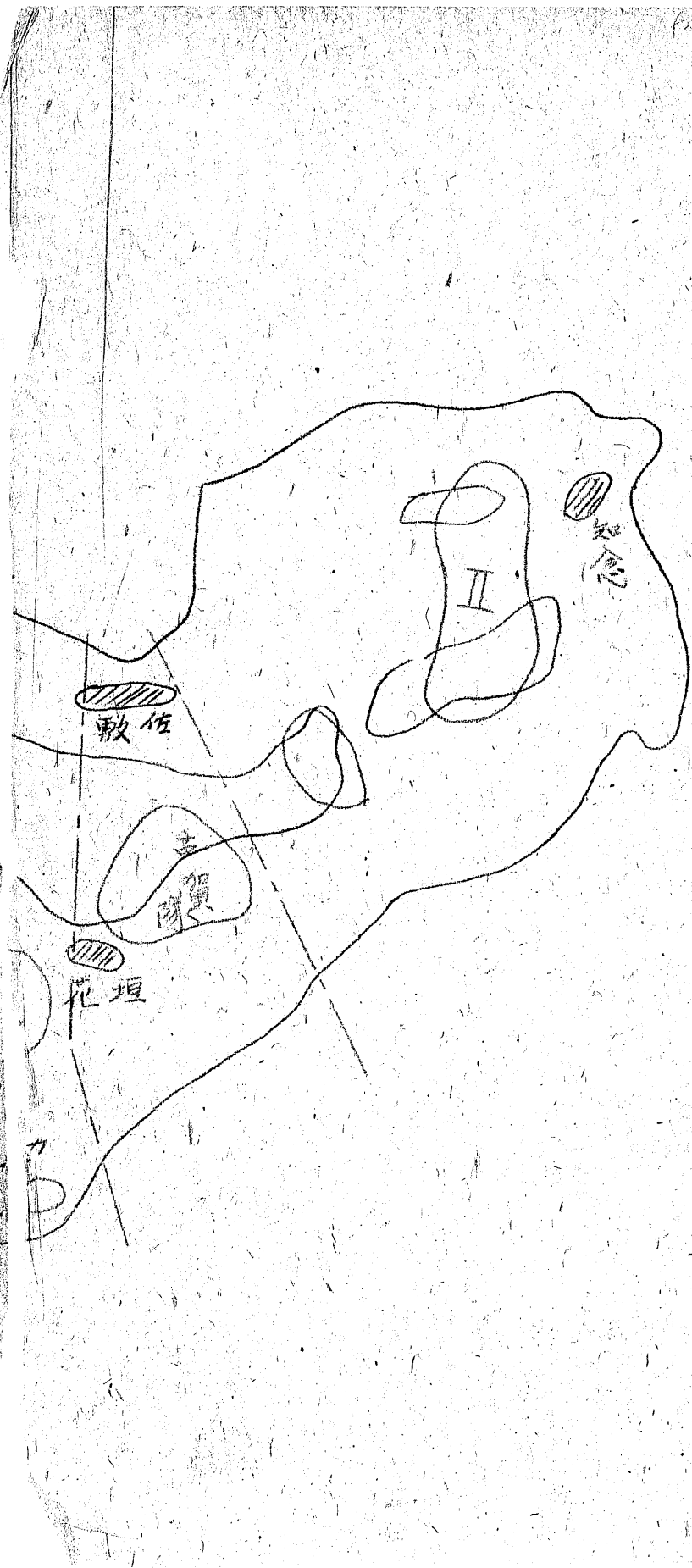
了

沖繩作戰
ニ於ケル

獨立混成第十五聯隊史實資料

昭和二十二年三月二十五日
第三十二軍残務整理部

獨立混成第十五聯隊戰鬥經過概要
 一、戰鬥開始時配備概要及記要圖、如左
 自二〇、三、三三
 至二〇、四、二五



軍隊之分
 右地之隊
 長 獨立混成第十五聯隊長
 大佐 美田十賀藏
 聯下部隊聯隊本部
 才一大隊長 大尉 野崎直房
 才二大隊長 大尉 井上清公
 才三大隊長 少佐 西村信義
 工兵中隊長 大尉 北村公
 聯隊砲中隊長 中尉 杉浦隆若
 速射砲中隊長 大尉 岡井喜雄

指揮下部隊
 獨立才二大隊 吉賀少佐
 獨立才三大隊 中本大尉
 獨立速射砲才六大隊 中島少佐
 迫重砲中隊

一、昭和三年三月二十三日朝霧霧深中ヲ突如南方より敵機ノ大編隊
 現出シ、下ノ増ヨリ爆撃ヲ開始ス。特ニ海岸地帯及海辺部落ニ指向セラル
 軍八道ニ甲号戦備下令各部隊ハ戦斗既備ヲ完備セリ
 二、翌二十四日珠川南方海上ニ敵巡洋艦數隻現出艦砲射撃ヲ開始セリ其ノ
 主射向ハ珠川、仲原、真カチヤ原及知念附近ナリ
 三、三月二十四日ヨリ連日守備地域ハ艦砲及爆撃ニヨリ攻撃ヲ受ケタリ各部隊ハ
 其ノ間極力損害ヲサケツ、陣地ノ補給構築障碍物等ノ設置特ニ斯ノ疎
 矣ノ強化ニ努メ戦力ノ増強ニ努メタリ
 四、三月二十七八日〇七〇頃ヨリ珠川海面ニ陽動的偽上陸ヲ実施セリ
 五、四月一日敵ハ本島北谷附近ニ上陸ヲ開始セリ、兵力約三、四ヶ師団ナルモ、
 ノ如ク同時珠川正面ニ偽上陸ヲ実施ス
 六、四月五日豫テ旅団、指揮下ニアリテ津堅島ニ攻道セラレアリ、中隊ノ一ヶ少
 隊(長山崎少尉)ハ死闘敵ヲ退退セシメタルヲ其ノ任務ヲ完了シ復帰セリ
 七、四月五日才六工師団正面戦況不利ナルト新作戦準備、為才一大隊
 (野崎隊)同澤師団、指揮下ニ入ルベク前進ノ命ヲ受ク同日野崎隊ハ聯隊
 ノ轄下ヲケレ翌二十三日夜天久ニ向ク前進ス



二、戦斗経過(一)

自三月二十三日 至四月二十七日

昭和三年三月二十三日朝霧霧深中ヲ突如南方より敵機ノ大編隊
 現出シ、下ノ増ヨリ爆撃ヲ開始ス。特ニ海岸地帯及海辺部落ニ指向セラル
 軍八道ニ甲号戦備下令各部隊ハ戦斗既備ヲ完備セリ
 二、翌二十四日珠川南方海上ニ敵巡洋艦數隻現出艦砲射撃ヲ開始セリ其ノ
 主射向ハ珠川、仲原、真カチヤ原及知念附近ナリ
 三、三月二十四日ヨリ連日守備地域ハ艦砲及爆撃ニヨリ攻撃ヲ受ケタリ各部隊ハ
 其ノ間極力損害ヲサケツ、陣地ノ補給構築障碍物等ノ設置特ニ斯ノ疎
 矣ノ強化ニ努メ戦力ノ増強ニ努メタリ
 四、三月二十七八日〇七〇頃ヨリ珠川海面ニ陽動的偽上陸ヲ実施セリ
 五、四月一日敵ハ本島北谷附近ニ上陸ヲ開始セリ、兵力約三、四ヶ師団ナルモ、
 ノ如ク同時珠川正面ニ偽上陸ヲ実施ス
 六、四月五日豫テ旅団、指揮下ニアリテ津堅島ニ攻道セラレアリ、中隊ノ一ヶ少
 隊(長山崎少尉)ハ死闘敵ヲ退退セシメタルヲ其ノ任務ヲ完了シ復帰セリ
 七、四月五日才六工師団正面戦況不利ナルト新作戦準備、為才一大隊
 (野崎隊)同澤師団、指揮下ニ入ルベク前進ノ命ヲ受ク同日野崎隊ハ聯隊
 ノ轄下ヲケレ翌二十三日夜天久ニ向ク前進ス

8月4日 日赤田命令ニ基キ現守備地ヲ船舶工兵ヲ三聯隊及独立才平九大隊
ニ引継ガ首里(含ズ)以西ノ地区ノ守備ヲ担任ス引継ノ時期ハ五月十日時ナリ
同時ニ独立第二大隊及独立才平九大隊 迫真砲中隊ハ指揮下ニ脱ス

三 戰鬥經過 其ノ二 自五月一日 至五月六日

1. 五月一日才平工師田ヨリノ守備地域ノ一部ヲ引継ガ別紙要圖(1)ノ如ク設置ス
2. 五月二日軍ハ五月四日ヲ期シテ攻勢ニ転移スルニ決シ之ニ由テ命令ヲ受領ス
第一大隊ヲ突進大隊トシ工兵隊長北村大尉ヲ率テ戰車減速ヲ編成セシメ
以テ聯隊戰鬥力ノ支撐タラズ同夜別紙要圖(1)ノ如ク前進配備ニ攻勢ヲ準備ス
3. 五月四日聯隊ハ才平四師團ノ攻勢後之ヲ超越前進スバキ任務アリタルヲ以テ
持機ニアリシカ不幸才平四師團ノ攻勢意ノ如ク進捗セガリシ爲所期ノ線ニ進出
シ得ガリキ
4. 五月六日攻勢中止ノ命ヲ受ケ西首里(含ズ)以西ノ防線ヲ命ゼテ同夜前進
配備ニシテ第一大隊ハ赤田ヲ準備隊トテ(隸)下ラハアレ在天久独立才平大隊
聯隊ノ指揮下ニル

四 戰鬥經過 其ノ三 自五月七日 至六月一日

1. 五月七日聯隊ハ別紙要圖(2)ノ如ク配備セルモ數度ノ前進ノ爲重火器ノ
移動 遲レ戰鬥力ニ支障ヲ生ズ然レ共始テ戰鬥ニ参加スルノ機会ニ恵ミ全
將兵ノ意氣更ニ天ラツクノ概アリタリ當面ノ敵ニ海兵才平六師團ナリ
2. 五月十日 敵ハ總ニル火器ノ援護ノ下戰車減速隊正面ヲサケ安謝ニ
進入天久方面ニ重突ヲ指向セリ
3. 五月十二日 独立才平大隊本部ヲ棄リ攻勢ヲ受ケリ
4. 五月十三日 戰車減速隊長北村大尉ハ自ラ敵兵ヲ阻害寸側面ヨリ敵ノ機
銃射ヲ受ケ戦死ス
5. 五月十五日 独立才平大隊ハ敵ノ重圍下夜間斬込ニヨリ敵ニ甚大ノ損害
及ビ脅威ヲ与ヘ又能ク無線ヲ確保シ敵情ヲ逐一報告ニヨリシカ同夜
大隊長以下最後ノ斬込ヲ敢行セリ
6. 五月十六日 天久附近ヲ占領セルニ及ビ敵ハ五一七高地ニ重突ヲ指向シ高地ヲ防
守シテ全線苦境ニ陥シリ同夜才平大隊聯隊ニ復歸シタルヲ以テ直テ五一七
高地夜襲ヲ取ラ命ズ才平大隊長自ラ輕機ヲ握リ率先挺進セル爲大隊ノ
志氣大ニ擧リ同高地ヲ奪取セリ

8. 五月十七日才ニ中隊ハ敵約一テ中隊ヲ前面底地ニ誘致シテ之ヲ全滅セシテ
 聯隊長ヨリ賞詞ヲ授與セラル
 9. 五月十七日戦車連隊及北村大尉ヲ村中尉ニ対シ感状ヲ授與シテ旅団ニ
 上申ス
 10. 五月十八日戦車連隊残存者十数名真嘉比西北才無名部落ニ對シ最後ノ
 斬込ミヲ敢行ス
 22. 五月十九日才一大隊ハ五ノ七高地ニ於テ連日ノ死闘ニヨリノ兵力ノ大部ヲ失ヒ
 同日遂ニ後退ス
 12. 五月二十日才一大隊ハ崇元寺町及安里町ニ於テ能ク敵ノ前進ヲ阻止シ聯隊
 前線線ニ強力ナル一翼ヲ形成シアリシカ遂ニ敵ノ強圧ニヨリノ兵力ヲ消耗
 シ同日十四時頃最後ノ遺電ヲ発信シ大隊長井上大尉以下全員斬込ミヲ
 敢行セリ
 13. 六月一日爾後聯隊ハ戦線ヲ五ノ七高地ト直嘉比ト女島師ト線ニ收縮シ死斗
 ヲ繰リ返シアリシガ軍方針ニ從ヒ島尻南部ニ前進ス聯隊ハ本戦斗ニ於テ戦力
 ノ大部ヲ失ヒ戦斗間既屬セラレタル部隊ヲ合シノ兵力僅カニ二百数十名ニ
 過ラス

4. 本戦斗間配属セラレタル部隊

海軍田代大隊 海軍伊藤大隊 海軍丸山大隊 一部
 海軍根拠地司令部 一部 風部隊 (航空保安通信整備中隊)
 特編大隊 (伊藤大隊) 特編中隊 海軍迫撃砲中隊 独立才一大隊

五. 戦斗経過 其ノ四 自六月三日 至六月六日

六月三日 島尻南部ニ前進新既備ニツク才一大隊長トシテ独立連射砲
 才七隊長中島少佐才四大隊長トシテ特編大隊長伊藤少佐命課ガ
 新既備別敵要圖(3)ノ如シ
 海軍伊藤大隊ハ才四大隊長ノ指揮ニ入ル聯隊砲中隊及速射砲中隊
 ハ共ニ砲ヲ才爲徒歩部隊ニシテ既ニ負傷シ後退セル將兵ヲ各部隊
 ニ復帰セシメタルニ構ハラス聯隊兵力僅カニ五百数十名ニ過カズ
 又、六月四日 敵軍クセ系敵ヲ奪取シ前ツ新城ヲ脱シ田原森川具志頭
 ニ近接ス
 3. 六月八日 田原前進陣地ヲ後退セシメ

4. 六月十三日 且志頭ニ於テ善戦力闘セシオ大隊ハソノ兵力殆ト消耗シ同夜
 大隊長以下残存者最右、打退後斬込ラ敢行ス
 5. 六月十四日 オ四大隊又破名城及同南方高地ニ於テ死斗ヲ繰リ返シ
 リシガ同日丁ニ時九、四高地ニ於テ伊藤海軍少佐以下残存数名ハ
 同地ヲ死守シ、戦死セリオ四大隊ハ大隊長伊藤少佐以下十数名ヲ
 同夜オニ大隊長中島少佐ハ新ニ既属セル軍通信中隊及予備隊
 ヲ併セ率ヒオ四大隊ヲ急援スガ出発セルモ途中敵ト遭遇エト交
 戦中壯烈ニ戦死シラトガ急援ハ不成功ニ終レリ伊藤少佐又翌日
 十五日戦死セルモノ、如シコニ於テ聯隊トミテ戦斗機能ハ消滅セリ
 6. 六月十六日 聯隊本部敵ノ重圍下ニ陥入ル

六 戦斗経過 其ノ五

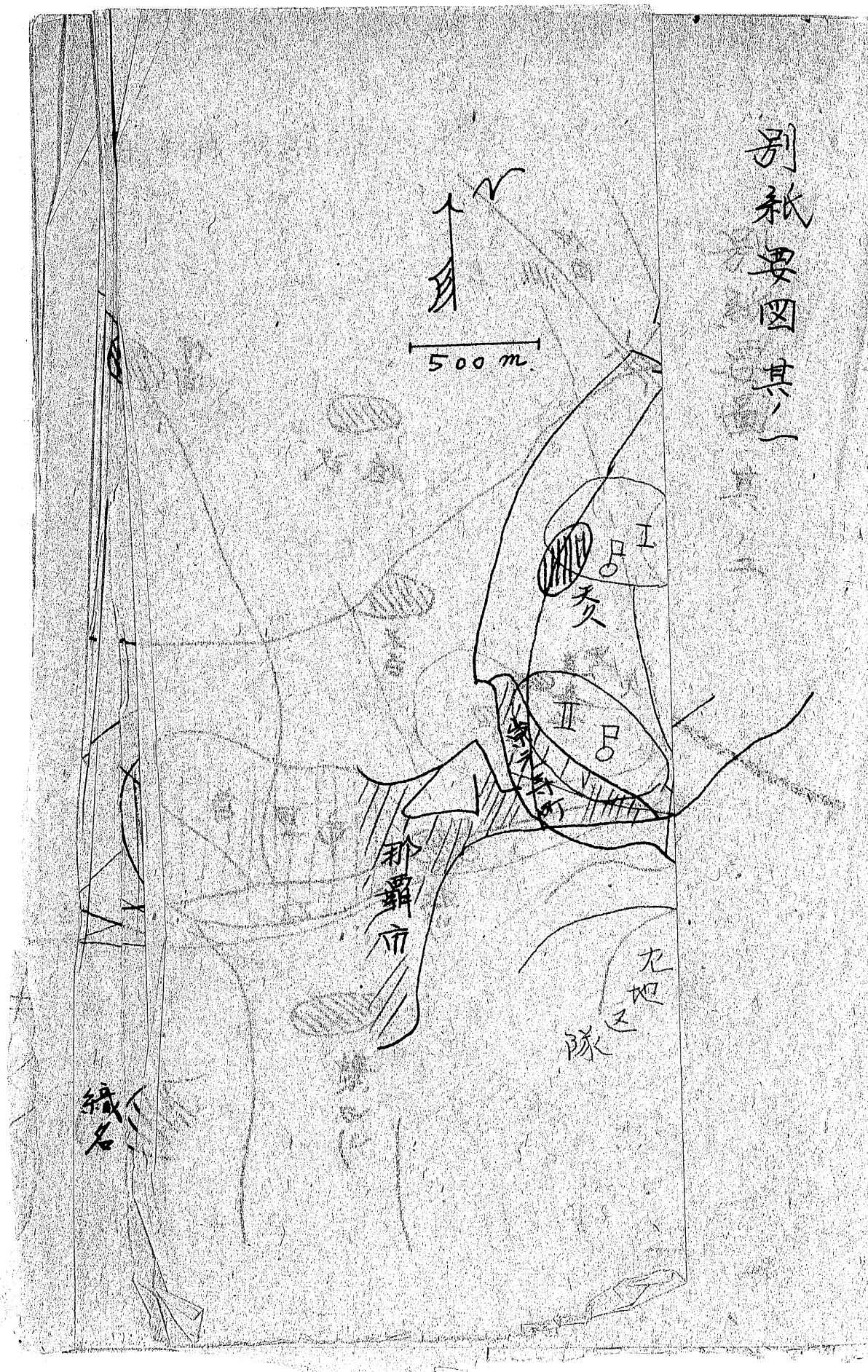
六月十七日
育三兵

1. 六月十七日以後 兵在仲屋南方松林戦斗指揮所ニ於テ本部
 残存者約百名(傷者ヲ含メ) 夜間少數斬込ラフツ、同地ヲ固守セリ
 2. 六月十五日 軍司令官及参謀長閣下自決セルヲ聞キ旅団ノ後
 ノ行動ニ関スル命令ヲ受領本島ニラクマテ持久シ遠東戦ヲ決ス
 3. 六月二十日 独立混成オ十五聯隊ヲ解体シ先ズ知念半島ニ本部
 ラ置キ出陣得ルハ右回頭地ニ移動シ護皇隊ト稱シ
 本格的遠東戦ニ移行セリ

七感状

六月九日 首里那霸附近、戦國対シ軍司令官ヨリ旅団対シ
感状ヲ授與セラル
尚右感状ニ対シ表参謀長閣下ヨリ聯隊長宛
本感状ハ貴部隊、特ニ勇戦辰ルトノ書簡ヲ受ク

別紙要図其一



織名